

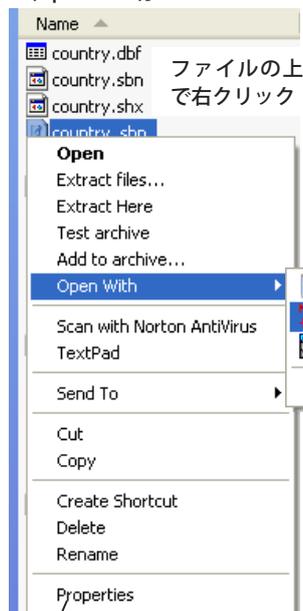
地理データをクリックして表示する

ご存知でしたか?... 外部形式の地理空間データファイルをクリックして、直接 TNT 製品で表示できます。

一般的な地理データファイルをクリックして表示することで...

- シェイプやラスタ、CAD 形式等の外部形式のファイルを直接 2 次元表示できます。
- 座標参照系やピラミッド、スタイル等へのリンク情報が自動的に作られます。

[プログラムから開く
(Open With)] オプション



[プロパティ (Properties)] をクリックして、次に [変更 (Change)] ボタンを押して TNT 製品のアプリケーションを選択します。同じ拡張子を持つファイルをダブルクリックすると、すべて TNT 製品で開きます。

空間データ表示で直接表示したシェイプファイル

外部の空間データファイルをダブルクリックすると、TNTmips では次の3つのウィンドウが開きます：〈TNTmips メニューバー〉、〈空間データ表示〉、〈グループ表示〉ウィンドウ

この機能は Windows XP およびそれ以降の OS で使用できます。
Mac OS X 10.3x、10.4x でも使用できます。

ダブルクリックによる直接表示をサポートしている形式：

シェイプオブジェクト：ESRI シェイプファイル

ラスタオブジェクト：TIFF, GeoTIFF, JP2, JPEG, PNG, MrSID, ER Mapper

CAD オブジェクト：MicroStation DGN, MapInfo TAB, AutoCAD DXF, AutoCAD DWG

一般的な地理データファイルをクリックして表示する方法

- 拡張子が TNT 製品で開くように登録されている場合、ファイルの上でダブルクリックします。
- Windows または Mac OS X を使って、[プログラムから開く] メニューを選び、TNT 製品を選択します。
- [空間データ表示] 処理で表示して、必要があればさらにレイヤを追加します。
- 他のファイルをクリックすると、もう一つ〈グループ表示〉ウィンドウが開きます。

さらに知りたいことがあれば...

以下の冊子をご覧ください

プロジェクトファイルの理解とメンテナンス
(Understanding and Maintaining Project Files)

